



☆ ✨ 「足守学生コンペ」開催しました！ ✨ ☆

9/28(土)に以前からお伝えしていた学生コンペを実施しました！

このコンペは、えびすやのまちづくり事業の一環として企画したもので、長らく空家になってしまっている足守の店舗兼住宅を、足守の地域活性化に繋がるような面白い施設にするためのアイデアを競うものです。県内の建築学科の学生さん対象で、最終的に岡山県立大学と岡山大学の学生さん合計7組にご参加いただきました。



発表会は足守の店舗現地で行いました。こちらの空家がどんな施設に生まれ変わるでしょうか・・・？

審査員には弊社社長の他に、岡山県立大学教授の西川先生、岡山大学講師の橋田先生をお迎えして、公平な審査を行いました。

発表頂いたプランは、ギャラリーやレンタルサイクル、おむすび屋、コミュニティスペース、ソーシャルダイニング等々・・・それぞれに魅力のある施設でした。皆さん背景となる足守の原状についてもしっかり調べてくれていて、足守の魅力と課題をしっかりとらえた内容になっていました。



そして審査の結果・・・最優秀賞には2組が選ばれました！

最優秀作品①「Artists in ASHIMORI 通り土間のある16mのギャラリー」

Artists in Residence (アーティストインレジデンス) という、アーティストをリノベーションした建築に呼び込む手法に着目し、それを足守という町全体で応用するというアイデアでした。かつてあった通り土間を蘇らせて作った、16mのギャラリーが象徴的です。

最優秀作品②「カルチャーベースおちゃのま 学問と芸術が開くまちの地域のリビング」

足守の三大偉人「緒方洪庵」「木下利玄」「寂庵」の共通点である「学問」と「芸術」に着目して、学問と芸術が開くまちとして発展させることプロジェクトです。「学問と芸術が開くまち」を実現するために、地域の学びの場として店舗部分をギャラリー、居住部分をスタジオに改装します。



今回はこの2組が最優秀賞に選ばれましたが、参加者それぞれの作品に取り入れたいと思うアイデアがあったため、急遽賞を増やし、皆様に賞を贈ることになりました。

参加者の皆様からは、「地域に貢献できる案を考えるということについて深く考えるきっかけとなった」「費用を抑えながら改修案を考えることが難しかった」「足守の知識・理解が深まった」等の感想を頂きました！

そんな皆様の素敵な作品は、弊社HPに掲載しておりますので是非見てみてください！